

## 奈良市中心市街地通行量調査(速報)

奈良市中心市街地の通行量調査が今年も8月8日(日)・9日(月)の両日に市内13地点において、奈良市中心市街地活性化研究会の協力のもとに実施されました。今年は、両日とも好天に恵まれ支障なく調査を終了いたしましたので、調査の概要について報告いたします。

なお、詳細には調査報告書がまもなく提出されますので、それをご覧ください。  
また、お問い合わせ等は、中心市街地活性化協議会事務局までご連絡ください。

### 1. 調査の概要と地点別通行量図

#### 1) 調査目的

奈良市中心市街地の通行量の実態を時系列に把握することによって、奈良市中心市街地商業地域の現状と課題を把握するため市内主要13地点において実施。

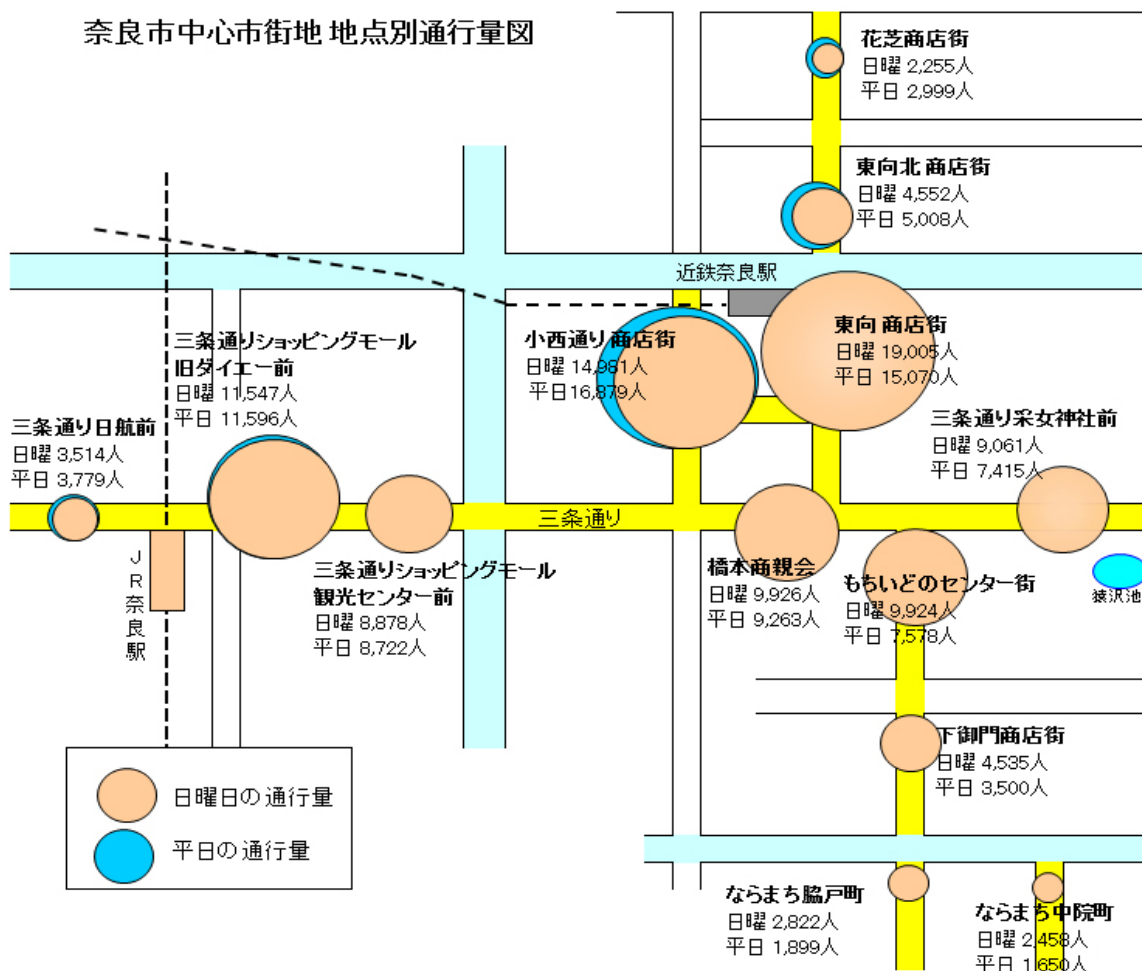
#### 2) 調査日時

平成22年8月8日(日) 天候 晴れ  
平成22年8月9日(月) 天候 晴れのち一時曇り

#### 3) 調査時間

午前10時～午後6時(6時間30分計測)  
※午後0時30分～午後1時30分、午後3時30分～午後4時は調査員休憩時間として調査欠測。

奈良市中心市街地 地点別通行量図



## 2. 調査結果と概要報告

### ◆ 市内全域（13 地点）の通行量は日曜日で 103 千人と順調に推移

日曜日の市内 13 地点の通行量は、延べ 103,458 人で、前回調査時（平成 21 年）の 96,326 人に比して 7,132 人（7.4%）の増加となった。ただ、昨年は台風接近に伴って雨が一日中降り続くという荒天によるものであり、人出に大きな影響を与えたことからすると、単純に増加したとの評価は妥当ではないが、平成 20 年に続く 10 万人を突破したことはゆるやかに回復する奈良の中心市街地として評価されて良いだろう。

なお一昨年から、ならまちの賑わい化など中心市街地の拡大に伴う動向を把握することとして、新たに 4 地点の計測場所を加えたが、これらの 4 地点を除く 9 地点の合計値は 85,603 人で、前回の 79,813 人に対して 7.3% 増となっており、新設の 4 地点計では、17,855 人で前回の 16,513 人に対して 8.1% の増加となった。

このように、ならまちなどの新しい観光拠点の増加率はわずかに旧市街地を上回る結果となった。

### ◆ 平成 20 年の実績値に及ばず、平城遷都 1300 年祭効果も得られず

前述したように、昨年の数値より上回ったものの、平成 20 年に記録した 110,322 人には▼6,864 人（▼6.3%）減少することとなった。また、市内主要 9 地点では▼9.2% の減少であり、約 10% 程度減少したことになる。これまで、順調に回復基調にあった奈良市内通行量であったが、ここにきて、成熟・停滞期に入ったとも判断できるが、要因としては、次のような点も見逃せない。

- ① 平城遷都 1300 年祭の顧客流動に期待した面もあったが、旧市街地内にはそれほどの流入は見られなかった。
- ② 今年の異常な猛暑は、昼間帯の市街地への来街を抑制することとなった。
- ③ 燈花会に先導される通行量であるが、今年は猛暑もあり出足低調の影響をもちに受けた。

### ◆ 市内最大の通行量地点は東向商店街で昭和 52 年から変わらず中心

奈良市中心市街地内の 13 地点の計測地点別で

は、第 1 位「東向商店街」19,005 人、第 2 位「小西通り商店街」14,981 人、第 3 位「三条ショッピングモール 旧ダイエー前」11,547 人となった。第 1 位の東向商店街は、調査開始時の昭和 52 年から一貫して第 1 位の座にあることから、奈良市の中心市街地の商業地形成は殆ど変化がなく、よりその集中度を増している。また、第 2 位の小西通り商店街は、平日の通行量が日曜日を上回るなど、東向商店街との差を縮めている。また、平成 20 年度と比較すると、三条ショッピングモールの旧ダイエー前やもちいどのセンター街も順位を上げており、次回以降の動向が注目される。



### ◆ 中心部から周縁部まで幅広く広がる面的拡大が続いている

このように東向商店街、小西通り商店街が中核をなす市内中心商業地域であるが、詳細に見るとわずかながら変化が起こっている。9 地点の集中度では、東向商店街 22.2%（平成 20 年 21.8%）、小西通り商店街 17.5%（同 16.5%）、と二大拠点の集中度は高まっているものの、周縁部の下御門商店街 5.3%（同 5.2%）、もちいどのセンター街 11.6%（同 10.6%）、東向北商店街 5.3%（同 4.8%）など増加している。また、新しく加わったならまちも平成 20 年度に比較して、横ばいと増加となっている。

つまり、全体的に市内の商業地域は面的に緩やかに拡大をしているということであり、商業地域としては好ましい傾向が続いているが、絶対数が増加しての面的拡大ではないので、躍進と評価するにはもう少し情勢を見なければならぬ。

### ◆ 平日の通行量がかつての水準に近づきつつある

昨年から 6 年ぶりに平日調査が復活し、復活後 2 回目の調査が実施された。平日調査によって改めて、日曜型街区や業務中心の平日型街区など地

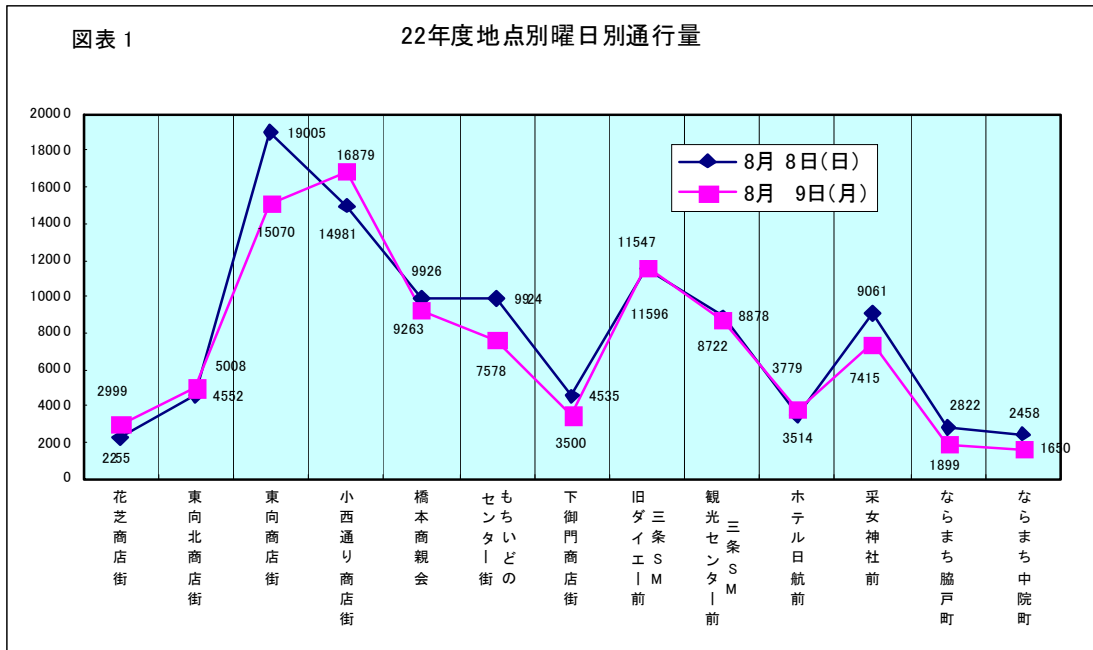
※ 「通行量調査」平成14年・17年の統計数値を修正いたしました

域の特色が鮮明に捉えられたことは意義深い。  
その調査の中で明らかとなった点は以下のとおりである。

- ①調査の始まった昭和52年と比較すると、全9地点で平日が日曜日を上回る結果を示したことは興味深い（多分に観光客の来街者数によるものと思われるが）。
- ②平日が日曜日の通行量を上回る平日型街区としては、13地点中5地点に達した。  
なかでも、第2位の通行量を誇る小西通り商店街は日曜日100とすると、平日が112.7

と大きく上回っており注目される（総合スーパー立地時代と同様の傾向）。

- ③また、東向北商店街（日曜=100として平日の値110）、花芝商店街（同133）となり昨年より平日の割合が高まった。当地域は奈文教・官庁施設を後背地に保有しており、商店街の性格もこうした条件を考慮しての実態と思われ、このような顧客特性にあわせてまちづくりが望まれる。



地点別年度別通行量の推移(日曜日・平日別) 平成16年は未計測

地点	曜日	昭52年	平10年	平12年	平13年	平14年	平15年	平17年	平18年	平19年	平20年	平21年	平22年
		日											
月													
A 花芝商店街(ブラザ花芝前)	日	3,351	2,622	2,694	1,670	3,174	3,505	2,802	-	2,893	2,255	2,463	2,255
月	3,929	3,384	2,919	1,705	3,167	3,586						2,454	2,999
B 東向北商店街(旧川井薬局前)	日	7,018	4,467	4,453	3,981	4,853	5,206	4,948	3,479	4,926	4,477	4,226	4,552
月	7,382	6,131	5,482	4,814	5,886	5,957						4,256	5,008
C 東向商店街(経済会館前)	日	22,536	18,451	20,317	15,291	15,818	15,846	17,820	18,009	17,513	20,264	16,587	19,005
月	17,270	14,519	11,677	12,774	13,375	12,409						12,638	15,070
D 小西通商店街(UFJ銀行前)	日	20,990	12,256	13,937	12,834	14,171	15,081	13,698	14,363	14,269	15,309	14,130	14,981
月	20,402	15,109	17,288	13,599	20,197	18,252						14,339	16,879
E 橋本商親会(南都銀行南口前)	日	14,671	13,247	12,209	12,362	8,683	12,935	12,196	12,533	11,882	13,664	11,016	9,926
月	11,378	9,782	8,158	8,378	8,100	9,031						7,652	9,263
F もちいどのセンター街(マーチャントセンター前)	日	14,308	9,061	6,972	8,881	8,148	7,528	7,928	7,383	8,394	9,810	8,465	9,924
月	9,517	7,554	5,752	5,720	6,201	5,875						5,715	7,578
G 下御門商店街(光学堂前)	日	3,043	2,645	2,173	1,268	1,995	2,203	3,556	3,420	3,881	4,787	4,062	4,535
月	2,665	2,216	2,125	749	1,701	1,656						2,586	3,500
H 三條ショッピングモール(旧ダイエー前)	日	21,856	17,158	18,281	9,289	16,172	11,455	12,089	9,618	10,160	11,408	9,883	11,547
月	17,311	16,349	17,232	9,376	15,053	12,724						7,117	11,596
I 三條ショッピングモール(観光センター前)	日	10,951	11,324	10,226	9,972	10,392	13,914	9,956	9,751	9,659	10,903	8,981	8,878
月	9,672	9,796	9,267	8,147	9,827	9,276						6,610	8,722
J 三條JR奈良駅西(ホテル日航前)	日										4,566	4,141	3,514
月												3,195	3,779
K 三條通猿沢池西(采女神社前)	日										8,027	7,703	9,061
月												4,315	7,415
L ならまち脳戸町(中西菓子舗店前)	日										2,830	2,363	2,822
月												未計測	1,899
M ならまち中院町(地域活性局西側)	日										2,022	2,306	2,458
月												877	1,650
合計	日	118,724	91,231	91,262	75,548	83,406	87,673	84,993	78,556	83,577	110,322	96,326	103,458
月	99,526	84,840	79,900	65,262	83,507	78,766						71,754	95,358



# (都)大森高畑線(県道 奈良生駒線)の暫定2車線供用開始

奈良市中心市街地の交通混雑緩和のため、また(都)三条菅原線と併せて第二阪奈道路と奈良市中心市街地を結ぶ交通の東西軸の強化のため、平成12年度より整備が進められていました(都)大森高畑線(県道 奈良生駒線)が、今回、平成22年10月9日(土)に開催される「平城遷都1300年祭 秋期フェア」に間に合わせるべく、平成18年6月より通行止めとなっていました(仮)大森西町交差点から大森町交差点までを暫定2車線で供用されました。

今後は、平成23年秋頃に向けて、4車線での供用を目指し取組まれるとのことです。

## 概要

1. 開通時期  
平成22年10月6日(水) 午前10時から
2. 開通区間  
区間：奈良市三条大宮町～奈良市三条本町  
供用延長：約0.5km(暫定2車線)  
標準幅員：25.0m
3. 位置図等は下記アドレスからのPDFを参照して下さい。  
<http://www.pref.nara.jp/secure/53264/H221006zanteikyoyou-ichizu.pdf>  
また、「JR奈良駅連続立体交差事業」の詳細は下記アドレスから  
[http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_menuid-17971.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-17971.htm)
4. お問い合わせは：JR奈良駅連続立体・街路事務所  
奈良市大森町57-12(奈良総合庁舎内)  
TEL：0742-26-3781 まで



## JR奈良駅の東西自由道路が供用開始される!

平成22年3月に高架化されたJR奈良駅の東西自由通路が10月3日(日)に供用開始されました。

供用開始に伴って、高架下に観光名所「ならまち」の歴史ある町並みのイメージした、また奈良・大和路の玄関口にふさわしい商業施設「ピエラ奈良」が開業

されました。テナントには奈良の地酒を楽しめる居酒屋、ファーストフード、定食屋などが入店しています。

詳しくは下記ホームページをご参照下さい。

[http://www.westjr.co.jp/news/newslit/article/1174992\\_799.html](http://www.westjr.co.jp/news/newslit/article/1174992_799.html)

